

2023年6月28日

課題名： レジオネラ肺炎における喀痰性状別培養陽性率の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、レジオネラ肺炎患者さんの喀痰の性状と性状別の喀痰培養陽性率ならびに喀痰培養が陽性になる要因を調べています。本研究では、レジオネラ肺炎患者さんに対して今後よりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2000年11月から、2022年12月までの間に、レジオネラ肺炎であると診断され当院に入院された15歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

- 年齢、性別、喫煙歴、基礎疾患
- バイタルサイン(意識レベル、体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度)
- 症状(発熱、咳嗽、喀痰、呼吸困難、頭痛、腹痛、下痢、関節痛、筋肉痛、意識障害)
- 血液検査所見(ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、総タンパク、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、BUN、Cr、Na、CRP)
- 入院時の肺炎重症度(A-DROP、CURB-65、PSI)、ICU入室、入院24時間以降のICU入室
- 入院前の抗菌薬治療有無と治療薬、入院後の治療内容
- 30日死亡、院内死亡
- 喀痰グラム染色によるGeckler分類、喀痰培養結果と検出菌、抗レジオネラ活性を有する抗菌薬投与から喀痰培養提出までの時間

◆情報の研究利用開始日◆

2023年8月1日以降

◆研究方法◆

本研究は患者さんからすでにいただいた情報である診療録の情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 伊藤 明広

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明